

2025年度

シラバス

ハリウッド大学院大学

令和 7(2025)年度 教育課程等の概要

科目 区分	授業科目の名称	教員名 (◎専任,○兼任)	曜日・時限		配当 年次	単位数		授業形態		
			春	秋		必修	選択	講義	演習	実習
サー ビス 基 礎 科 目	ヒューマンサービス経営学	◎寺本◎清家	火4・5		1, 2	2		○	○	
	産業経済社会論	◎熊村T	木6		1, 2		2	○	○	
	経営理念戦略論	◎清家◎高山		火4・5	1, 2		2	○	○	
	サービスマーケティング論	◎相原		木4	1, 2		2	○	○	
	計		2	2						
テ ィ ラ イ フ ビ ジ ネ ス 科 目	トータルビューティ芸術文化論	◎J牛山○光江H○金	水6		1, 2	2		○	○	
	ビューティ美学	○福地◎中川	木4		1, 2		2	○	○	
	日本文化リテラシー(前提)	◎佐藤T◎佐藤K◎光江N	火2・木2	火2・木2	1, 2		2	○	○	
	計		3	1						
マ ネ ジ タ ル ビ ジ ネ ス 科 目・ 展 開 テ ィ キ	トータルビューティビジネス論	◎山中Y		水6	1, 2	2		○	○	
	経営管理論	◎清家◎高山	木3				2			
	日本的経営論	○金子○小河◎横澤○高梨	木5		1, 2		2	○	○	
	企業経営診断論	◎佐々木		木6	1, 2		2	○	○	
	キャリア開発論	◎坪内○野嶋○三浦K○佐藤A	水4		1, 2		2	○	○	
	財務管理論	○田井		火7	1, 2		2	○	○	
	観光ビジネス論	○檜垣○中村		水7			2			
	デジタルマーケティング論	○熊村G	木7		1, 2		2	○	○	
	デジタルマーケティング実務	○熊村G		木7	1, 2		2	○	○	
	経営情報ビジネス論	◎岸◎相原		水5	1, 2		2	○	○	
	グローバルビジネス論	◎篠田○横山		火3	1, 2		2	○	○	
	パフォーマンス論	佐藤A		木5	1, 2		2	○	○	
	簿記論(前提)	○田井	火6		1, 2		2	○	○	
	計		4	9						
ル ・ ビ タ ル ビ ジ ネ ス 科 目・ 展 開 テ ィ キ	トータルビューティスキル論	◎渡邊	水7		1, 2	2		○	○	
	コスメティックビジネス論	◎中川○滝野		水4	1, 2		2	○	○	
	ファッションビジネス論	○篠原	水5		1, 2		2	○	○	
	メディカルビューティ論	◎坪内		火6	1, 2		2	○	○	
	経営実務演習	◎山中	金3-7	金3-7		2	2	○	○	
	技能実務演習	◎渡邊	金3-7	金3-7		2	2	○	○	
	計		4	4						
科 目 群	プロジェクト研究	◎川島◎坪内	火4・5	火4・5	1前	2		○	○	
	プロジェクト成果報告	担当教員	担当教員 と相談	担当教員 と相談	1, 2		2年 2後	○	○	
	計		2	2						
合計			16	17	29科目					

科目名 ヒューマンサービス経営学		授業形態 講義・演習	科目区分 必修	担当教員 寺本義也 清家彰敏
単位数 2単位	授業時間数 30時間	授業時間帯 春期・火曜日・4～5時限	オフィスアワー 火曜日13:30～14:30（事前のメール予約）	
授業概要				
この講義全体を通して、今後の「サービス企業の戦略経営」のあり方を考える。ヒューマンサービス経営の本質は個々の顧客の価値（個客価値）の共創である。講義は理論研究と事例研究とを組み合わせる。受講者によるグループ発表も実施する。講義はテキスト『サービス経営学入門』をベースに進める。				
授業計画				
回	月日	学修テーマ	学修内容	備考
1	4 / 15	サービス経営の課題	サービス経済化の時代の特徴を概説し、経済成長の要因との関連でサービス経営の課題を考える。	担当教員 寺本
2	4 / 15	サービス企業の成長と革新	モノとサービスの特質を説明し、サービス経営の基本的枠組みを理解させる：事例研究(1)	寺本
3	4 / 22	サービス・イノベーションの展開	イノベーションの意義を説明し、2種類のサービスの差異を理解させる。：事例研究(2)/(3)	寺本
4	4 / 22	サービス企業の理念戦略	戦略経営の全体構造を説明し、経営理念と経営戦略の関係を理解させる。：事例研究(4)	寺本
5	4 / 29	サービス企業の成長戦略	経営目標の設定と実現のための戦略類型を説明し、環境分析と戦略策定の手法を理解させる。：事例研究(5)	寺本
6	4 / 29	サービス企業の競争戦略	競争戦略の意義を説明し、競争優位性の構築と戦略類型を理解させる。：事例研究(6)	寺本
7	5 / 13	サービス企業のビジネスモデル(1)	戦略実現の仕組みとしてのビジネスモデルの役割を説明し、進化プロセスを理解させる：事例研究(7)、(8)	寺本
8	5 / 13	サービス企業のビジネスモデル(2)	価値創造のプロセスを説明し、顧客価値の本質を理解させる。：事例研究(9)	寺本
9	5 / 20	サービス企業の組織マネジメント(1)	組織デザインの意義を説明し、組織文化の重要性を理解させる。：事例研究(10)、(11)	寺本
10	5 / 20	サービス企業の組織マネジメント(2)	モチベーションとリーダーシップの関係を説明し、変革のリーダーシップを理解させる。：事例研究(12)	寺本
11	5 / 27	サービス企業の人財マネジメント	サービス価値の高付加価値化を担う人財の重要性と類型を説明し、人財育成の方法を理解させる：事例研究(13)	寺本
12	5 / 27	サービス企業の知識マネジメント	サービス企業における組織学習のプロセスを説明し、知識マネジメントの全体像を理解させる：事例研究(14)	寺本
13	6 / 3	グループ事例研究(1)	発表と討議・講評：レポート提出	寺本・清家
14	6 / 3	グループ事例研究(2)	発表と討議・講評：レポート提出	寺本・清家
15	6 / 10	グループ事例研究(3)	発表と討議・講評：レポート提出	寺本・清家
16	6 / 10	グループ事例研究(4)	発表と討議・講評：レポート提出	寺本・清家
時間外の学修	事前学習：教科書の該当箇所を精読し、疑問点等を考えておくこと。			
	事後学習：毎回の配布資料と各自のメモの内容を確認すること。			
使用教材	寺本義也編著『サービス経営学入門』（同友館）及び毎講義時に講義資料を配布する。			
到達目標	① サービス経営の理論的・体系的な学修 ② サービス経営の実践的な知識とスキルの学修 ③ 構想力・実行力・人間力の基礎の習得		評価方法(%)	評価基準(点)
			授業内活動	30 S 90～100
			講義理解	30 A 80～89
			発表状況	30 B 70～79
			提出物	10 C 60～69
			期末試験	— D 0～59

科目名 産業経済社会論			授業形態 講義・演習	科目区分 サービスビジネス基礎科目	担当教員 熊村剛幸 外部講師	
単位数 2単位	授業時間数 30時間	授業時間帯 春期・木曜日・6時限	オフィスアワー 授業前1時間			
授業概要 「トランプ関税」によって世界経済の分断が進み、第2次世界大戦後の世界秩序を支えてきた自由貿易体制は、大きな転換期を迎えた。一方で、AI（人口知能）など「新たな産業革命」は急速に進み、産業構造を大きく変えようとしている。世界的な「分断」と「未知」への急激な構造変化は、サービス産業にも大きな影響を与え、これまでの経営の変革を迫っている。サービス産業の現状を分析するとともに、これからの変化を展望し、どう対応していくべきかを探る。						
授業計画						
回	月日	学修テーマ	学修内容		備考	
1	4 / 24	ガイダンス	授業の進め方を説明し、授業の到達目標を共有する		熊村	
2	5 / 1	トランプ関税	トランプ関税の具体的な内容を分析し、今後の世界経済に与える影響を探る		熊村	
3	5 / 8	自由貿易体制	トランプ関税の発想の原点を探り、これまでの自由貿易体制がどうなるか展望する		熊村	
4	5 / 15	新産業革命（AI革命）	AIの発達で産業構造がどのように変わっていくかを展望し、対応策を探る		熊村	
5	5 / 22	巨大企業（M7）	M7（マグニフィセント・セブン）といわれる米巨大企業を分析、動向を探る		外部講師	
6	5 / 29	人口減少	人口減少が産業経済に大きな影響を与えることを理解し、対応策を考える		熊村	
7	6 / 5	高齢化	高齢化が現代社会に及ぼす影響を分析し、どう対応していくかを探る		熊村	
8	6 / 12	Z世代	Z世代の行動様式を理解し、マーケティング戦略にどう活用するかを考える		熊村	
9	6 / 19	地球温暖化	トランプ政権発足で、地球温暖化対策にブレーキがかかってきたことを理解する		外部講師	
10	6 / 26	宇宙開発	宇宙開発の現状を理解し、各国の動向を展望する		熊村	
11	7 / 3	EV（電気自動車）	EV生産の現状を理解し、EV開発の今後の動向を探る		熊村	
12	7 / 10	EC（電子商取引）	ECの具体例を学び、これからどう活用していくかを考える		外部講師	
13	7 / 17	サイバー攻撃	サイバー攻撃の実態を理解し、どう対応すべきかを考える		熊村	
14	7 / 24	企業と国家	巨大企業の規制に動く各国政府と企業側の対応を探る		熊村	
15	7 / 31	ソフトパワー	分断の時代におけるソフトパワーの重要性を理解し、どう発展させるかを考える		外部講師	
16	8 / 7	まとめ	授業全体を振り返り、学修内容を今後のビジネス展開にどう役立てるかをまとめる		熊村	
時間外の学修	事前学習： 前回の授業内容の復習					
	事後学習： 授業で見つかった課題に取り組む					
使用教材						
到達目標	①世界の産業、経済、社会の変化を理解する ②いま起こっている変化の背景を探る ③これからの世界がどうなるかを考える			評価方法（％）		評価基準(点)
				授業内活動	50	S 90～100
				講義理解	30	A 80～ 89
				発表状況	20	B 70～ 79
				提出物		C 60～ 69
				期末試験	50	D 0～ 59

科目名			授業形態	科目区分	担当教員	
経営理念戦略論			講義	選択	高山誠 清家彰敏	
単位数	授業時間数	授業時間帯	オフィスアワー			
2単位	30時間	秋期・火曜日・4,5時限	火曜日の午後			
授業概要						
この講義では、履修者が自分のビジョンとミッションを発見し、それを実現するための行動計画を立てる力を養う。誰もが使う戦略は負け戦。成功する戦略の理念づくりを学ぶ。 担当教員とともに営業・研究開発・事業開発・生産・人事・経営企画・ベンチャー・創業までの幅広い実務経験を有し、すぐに役立つスキルと方法を提供する。 創業から事業拡大まで、各回のテーマは具体的な事例や活動を取り入れ、歓喜するチームづくりと価値共創を実践するリーダーとなるスキルを獲得する。						
回	月日	学修テーマ	学修内容		備考	
1	10 / 7	環境変化への対応 長寿企業の理念とヒト	経営環境変化に対応する 事例:理念実践企業 トヨタと近江商人		序章 1-2	
2	10 / 7	経営理念の歴史	牧場型から戦略型へ 事例:綿工業から第四次産業革命, 飛ぶ車		第1章	
3	10 / 14	理念戦略の成功失敗の本質	成功する理念・失敗する理念 事例:ウォルマートvs Amazon-ヤマト運輸		第2章 1-2	
4	10 / 14	理念戦略の成功失敗の法則	理念戦略の成功と失敗の法則 事例:再生ソニーの成功と失敗		第2章 3-5	
5	10 / 21	成功企業の全社戦略 長寿企業の経営理念	成功企業が超える道:規模拡大vs多角化 事例:京都企業 成功の秘密		第3章	
6	10 / 21	継続する優位性づくり	企業の継続と理念 (清家)		ゲスト スピーカー	
7	10 / 28	必勝・必敗を招く事業理念	必勝の法則を応用した土俵づくり 事例:ユニクロ長者・伊藤園誕生秘話		第4章 1-2	
8	10 / 28	サービスドミナント戦略	従業員と顧客が感動する企業 事例:Disney magicと感動する未来工業		第4章 3	
9	11 / 4	アライアンスは情報戦争	アライアンスのマネジメント 事例:メガファーマ誕生の情報戦秘話		第5章 1-2	
10	11 / 4	M&Aはこうして仕掛ける	情報戦と買収交渉の疑似体験		ゲスト スピーカー	
11	11 / 11	グローバル事業展開	国境の突破法 事例:㊤和食越え麺文化革命丸亀製麺		第6章	
12	11 / 11	ネットワーク効果が生む価値共創	プラットフォームとビジネス・エコシステム		第7章	
13	11 / 18	限界突破の経営	限界を逆手に取る進化型経営 (清家)		日本経営品質学会 22周年記念誌ー22年の歩み	
14	11 / 18	世界を巻き込むDX	世界を変えるDXビジネス		ゲストスピーカー (清家)	
15	11 / 25	持続可能な理念戦略 ビジネスモデルづくり	持続可能なビジネスモデルの枠組み描き 事例:キーエンスのなんでも㊤ビジネス		終章	
16	11 / 25	試験	全体の学修内容を復習し、理念戦略について振り返る		清家	
時間外の学修	事前学習: 授業内容の予習 (教科書の目次を読む)					
	事後学習: 授業の復習					
使用教材	新経営戦略論(寺本-大森, 学文社, 2022), 日本経営品質学会22周年記念誌 ー22年の歩みー					
到達目標	①経営理念をもとに戦略を作れる。 ②経営理念と戦略の分析ができる。 ③ビジネスモデルの枠組みを描ける。			評価方法 (%)		評価基準(点)
				授業内活動	20	S 90～100
				講義理解	20	A 80～ 89
				発表状況	10	B 70～ 79
				提出物	20	C 60～ 69
				期末試験	30	D 0～ 59

科目名 サービスマーケティング論		授業形態 講義・演習	科目区分 選択	担当教員 相原 修
単位数 2単位	授業時間数 30時間	授業時間帯 秋期・木曜日・4時限	オフィスアワー 火曜・木曜（13時～14時）	
授業概要				
マーケティングの基礎概念を基に、流通・飲食・観光・情報・ビューティビジネスなどサービス分野への応用発展について考察する。さらに最近の消費者行動やテクノロジーの変化について理解を深める。				
ryuutu				
回	月日	学修テーマ	学修内容	備考
1	10 / 2	マーケティングと経営	マーケティングの内容と企業経営の関わり	
2	10 / 9	マネジリアルマーケティング	マーケティング概念の変化、4つのPの内容と環境分析	
3	10 / 16	サービスマーケティング	サービス産業の拡大、8つのPの内容とサービスの特徴	
4	10 / 23	リレーションシップ・マーケティング	生涯価値、顧客満足度、顧客管理	
5	10 / 30	サービス提供者	従業員モチベーション、労働市場	
6	11 / 6	戦略・市場細分化	PPM、STP分析、ニッチ戦略	
7	11 / 13	製品・サービス開発	アイディア開発手法、製品ライフサイクル	
8	11 / 20	ブランド戦略	知的財産権、商標、プライベートブランド	
9	11 / 27	流通構造	業種と業態、業態の盛衰	
10	12 / 4	サービスと立地	商圈、GIS（地理情報システム）の活用	
11	12 / 11	サービス価格	価格設定、行動経済学の事例、ダイナミック・プライシング	
12	12 / 18	サービスのプロモーション	PR、媒体、広告目標と効果	
13	1 / 8	消費者行動	ニーズの変化、少子高齢化、シェアリング社会	
14	1 / 15	ホスピタリティサービス事例	フードサービス、観光	
15	1 / 22	イノベーション	第4次産業革命、AIの活用	
16	1 / 29	まとめ	15回のまとめ、理解度チェックテスト	
時間外の学修	事前学習 講義のテーマに関連する事例を調査しておく 事後学習 配布された参考資料をもとに復習を行う			
使用教材	毎回講義中に参考資料を配布			
到達目標	①マーケティング概念の変遷について、理解を深める ②サービスマーケティングの特徴を修得する ③環境変化対応の重要性について認識を深める		評価方法 (%)	評価基準(点)
			授業内活動	10 S 90～100
			講義理解	10 A 80～ 89
			発表状況	- B 70～ 79
			提出物	30 C 60～ 69
			期末試験	50 D 0～ 59

科目名		授業形態	科目区分	担当教員	
トータルビューティスキル論		講義・実習	必修	渡邊雅美 柳延人 他	
単位数	授業時間数	授業時間帯	オフィスアワー		
2 単位	30時間	春期・水曜日・7 時限	毎授業後30分間		
授業概要					
社会及び経済の発展によりトータルビューティに対する消費者のニーズは、より高度化、多様化している。それに対応してトータルビューティのスキルは、伝統的技術をベースに先端的技术を導入して進化しているのが現状である。本講義では、それらの最新の技術を「理論」とその「変遷」の面から紹介し、また「展示」並びに「実習」を含めることでトータルビューティスキルの進化の理解を深める。ビューティビジネスに携わる人として、スキルの錬磨のみならず、「個」を中心にしたトータルビューティの概念も身に付けたい。 *4月28～30日ビューティワールドジャパン参加。					
回	月日	学修テーマ	学修内容	備考	
1	4 / 23	トータルビューティスキル論	講義の概要、授業の進め方、成績評価基準の説明。技術全般の概要を説明する	(担当教員) 渡邊	
2	4 / 30	パーソナルカラー	個性を活かし、魅力を引き出させる「似合う色」を理論と実践で理解する	渡邊	
3	5 / 7	ソシオエステティック スキル	エステ技術の変遷から、QOLをねらいとした新たな展開のソシオエステを理解する	光江	
4	5 / 14	メイクアップ スキル/1	メイクアップ技術の変遷を論じ、スキンケアからベースメイクの神髄を理解する	篠崎	
5	5 / 21	メイクアップ スキル/2	メイクにおける骨格の活かし方と個性を見極めるポイントメイク術を理解する	津久間	
6	5 / 28	ヘッドスパ スキル	ヘッドマッサージからヘッドスパ技術への変遷を交えて論じ、理解を深める	渡邊	
7	6 / 4	ネイル スキル	ネイル技術の理論とその技術の変遷・進化を理解する	岡崎	
8	6 / 11	ゆかた着付け スキル	ヘアアレンジ技術の理解促進の為、衣装に合わせたヘアアレンジを体験実習する	渡邊	
9	6 / 17	ブライダルショウ	和装白無垢、色打掛紋服、ウェディングドレス、日本髪、帯結びとヘアショウ	渡邊	
10	6 / 18	パーマ スキル	ヘアスタイルとパーマ技術の変遷を展示し、髪質及びカウンセリングにも触れる	渡邊	
11	6 / 25	2.5次元エンタメ ヘアメイク スキル	舞台、動画におけるキャラクターのヘアメイク ウィッグ制作展示	柳	
12	7 / 2	ヘアアレンジ スキル	基本の6パターンを概観し、シニオン・ロール・編み込み等を理解する	渡邊	
13	7 / 9	アイラッシュカール、アイブローセット スキル	まつげに関わる技術の変遷と最新の技術を理解する	渡邊	
14	7 / 16	カット スキル	ヘアスタイルとカット技術の変遷を展示し、カウンセリングについても触れる	渡邊	
15	7 / 23	カラー スキル	カラーリングの目的と技術の変遷を論じ、カウンセリングについても触れる	渡邊	
16	7 / 30	まとめ	終わりにトータルビューティスキルの重要性を再考する（レポート発表と提出）	渡邊	
時間外の学修	事前学習： 前時の授業内容の復習 事後学習： 授業で与えられた課題に取り組む				
使用教材	授業の際に適宜プリントを配布する。参考文献を適宜紹介する。				
到達目標	①ヘア、メイク、ネイル、エステ、マツエク、ブライダルの夫々理論とスキルを理解する ②各種スキルの変遷とトレンドを理解する ③トータルビューティビジネスの最新の業界動向を把握する		評価方法 (%)	評価基準 (点)	
			授業内活動	30	S 90～100
			講義理解		A 80～ 89
			発表状況	10	B 70～ 79
			提出物	60	C 60～ 69
			期末試験		D 0～ 59

科目名		授業形態		科目区分	担当教員	
ビューティ美学		講義・演習		選択	福地隆芳 中川登紀子	
単位数	授業時間数	授業時間帯	オフィスアワー			
2単位	30時間	春期・木曜・4時限	木曜日・16:10～17:10(要予約)			
授業概要						
私たち人間は「視覚」「聴覚」「味覚」「嗅覚」「触覚」という五感を通して外部から情報を得ている。中でも視覚の情報は90%以上を占めると言われている。「色」や「かたち」はビューティビジネスにとって最も有効な方法であり、重要なファクターとなる。本講義では、「美」について、芸術や心理学の側面から学ぶことを通じて、ビューティビジネスに役立つ感性・表現力や論理的思考力の向上を図ることを目的とする。						
授業計画						
回	月日	学修テーマ	学修内容		備考	
1	4 / 24	イントロダクション 色とかたちの心理	ヘアメイクアップを構成する三要素の色・形・質感について学ぶ		中川	
2	5 / 1	顔①	顔の魅力判断のポイントとなる要素について学ぶ。		中川	
3	5 / 8	顔②	顔から推測される性格や顔の表情と感情との関係について学ぶ。		中川	
4	5 / 15	美容①	髪色・髪型と美との関係について学ぶ。		中川	
5	5 / 22	美容②	メイクアップと美との関係について学ぶ。		中川	
6	5 / 29	被服	ファッションと美との関係について学ぶ。		中川	
7	6 / 5	感性語と評価	人物印象を表現する感性語とその評価方法について学ぶ。		中川	
8	6 / 12	色彩構成 ①	基本形である円・三角形・直線を使い平面構成し彩色する。		福地	
9	6 / 19	色彩構成 ②	同心円2個と直線を使い、全体を暖色系の色で彩色する。		福地	
10	6 / 26	色には味があるか ①	味覚（甘い・辛い・酸っぱい・渋い・苦い 等）を色彩で表現する。		福地	
11	7 / 3	色には味があるか ②			福地	
12	7 / 10	心もようの表現 ①	「喜怒哀楽」心の心理状態を色彩でカラーージュする。		福地	
13	7 / 17	心もようの表現 ②			福地	
14	7 / 24	色彩構成③	数字で構成されたベースを二分して、一方を静寂、他方を賑わいで退避させる。		福地	
15	7 / 31	色彩構成④			福地	
16	/	レポート・作品作成	授業で学んだ内容を基にレポート及び作品を作成・提出する		福地・中川	
時間外の学修	授業で与えられた課題に取り組む					
使用教材	授業の際にプリントを配付する。参考文献を適宜紹介する。					
到達目標	①人物(バランス)・色彩・立体・造形の思考を明確にし、独自性のある造形の構築を目指す。 ②ビューティに関連する美の要素や心理的効果について理解を深める。 ③発想力を豊かにし、表現力の多様性を目指す。			評価方法 (%)		評価基準(点)
				授業内活動	30	S 90～100
				講義理解	20	A 80～ 89
				発表状況	20	B 70～ 79
				提出物	30	C 60～ 69
				期末試験	—	D 0～ 59

科目名 日本文化リテラシーA・B		授業形態 講義・演習		科目区分 前提	担当教員 光江徳尚 佐藤和彦 佐藤尚之
単位数 2単位	授業時間数 30時間	授業時間帯 春期と秋期: 火曜日2時限、木曜日2時限		オフィスアワー 各曜日授業終了後	
授業概要 日本語能力試験の出題形式に沿っての演習を通して、日本語能力試験1級または2級の合格レベルの日本語力を養成する。第1講において受験する級によってクラス分けを行い、それぞれのレベルに応じた級の合格を目指す。日本語能力試験の練習を通じて習得した言語能力を活かし、大学院の授業内容を正確に理解し自己の考えを表現するために、読み、書き、聞き、話す力として正しく運用できるようにする。また、授業とは別に各自継続的に試験対策を進めてることが前提であり、特に授業中で間違えた部分や各自の苦手分野は重点的に復習しておく必要がある。(週2回ある為、第16講以降も授業は続く。基本的にはJLPT試験日までは試験対策、それ以降は授業のための日本語のサポート等を行う。詳しくは第1講オリエンテーションで説明する)					
春期日程					
回	月日	学修テーマ	学修内容	備考	
1	4 / 15	授業説明と文字・語彙1	レベル確認・クラス分け 漢字読み、文脈規定に関する演習と解説	出題形式別 練習問題①	
2	4 / 17	文字・語彙2と文法	言い換え類義、用法に関する演習と解説 文の文法に関する演習と解説		
3	4 / 22	読解1	内容理解(短文・中文)に関する演習と解説		
4	4 / 24	読解2	内容理解(長文)、統合理解、主張理解に関する演習と解説		
5	4 / 29	読解3と聴解1	情報検索に関する演習と解説 課題理解に関する演習と解説		
6	5 / 1	聴解2	ポイント理解、概要理解に関する演習と解説		
7	5 / 9	聴解3	即時応答、統合理解に関する演習と解説		
8	5 / 13	文字・語彙1と文法	漢字読み、文脈規定、言い換え類義、用法に関する演習と解説	出題形式別 練習問題②	
9	5 / 15	文字・語彙2と文法	文の文法(1、2、文章の文法)に関する演習と解説		
10	5 / 20	読解1	内容理解(短文・中文)に関する演習と解説		
11	5 / 22	読解2	内容理解(長文)、統合理解、主張理解に関する演習と解説		
12	5 / 27	読解3と聴解1	情報検索に関する演習と解説 課題理解に関する演習と解説		
13	5 / 29	聴解2	ポイント理解、概要理解に関する演習と解説		
14	6 / 3	聴解3	即時応答、統合理解に関する演習と解説		
15	6 / 5	模擬試験1	言語知識・読解を範囲とする試験	模擬試験 言語知識・読解	
16	6 / 10	模擬試験2 ←(週2回なのでその後も続きます)	聴解を範囲とする試験	模擬試験 聴解	
時間外の学修	事前学習: 適宜授業の進行度によって指示する(主に練習問題において時間内に出来なかった部分) 事後学習: 授業中間違えた箇所全てを再度復習する				
使用教材	担当教員の用意する教材 クラスによって適宜教員が提示する				
到達目標	①日本語能力試験の目標級の合格		評価方法(%)		評価基準(点)
	②日本語能力試験目標級相当の能力を身につける		授業内活動	20	S 90～100
	③習得した日本語能力を大学院の授業にて運用する		講義理解	50	A 80～89
			発表状況	—	B 70～79
			提出物	10	C 60～69
			期末試験	20	D 0～59

科目名 日本文化リテラシーA・B		授業形態 講義・演習	科目区分 前提	担当教員 光江徳尚 佐藤和彦 佐藤尚之
単位数 2単位	授業時間数 30時間	授業時間帯 春期と秋期: 火曜日2時限、木曜日2時限	オフィスアワー 各曜日授業終了後	
授業概要 日本語能力試験の出題形式に沿っての演習を通して、日本語能力試験1級または2級の合格レベルの日本語力を養成する。第1講において受験する級によってクラス分けを行い、それぞれのレベルに応じた級の合格を目指す。日本語能力試験の練習を通じて習得した言語能力を活かし、大学院の授業内容を正確に理解し自己の考えを表現するために、読み、書き、聞き、話す力として正しく運用できるようにする。また、授業とは別に各自継続的に試験対策を進めていくことが前提であり、特に授業中で間違えた部分や各自の苦手分野は重点的に復習しておく必要がある。(週2回ある為、第16講以降も授業は続く。基本的にはJLPT試験日までは試験対策、それ以降は授業のための日本語のサポート等を行う。詳しくは第1講オリエンテーションで説明する)				
春期日程				
回	月日	学修テーマ	学修内容	備考
1	10 / 2	授業説明と文字・語彙 1	レベル確認・クラス分け 漢字読み、文脈規定に関する演習と解説	出題形式別 練習問題①
2	10 / 7	文字・語彙 2 と文法	言い換え類義、用法に関する演習と解説 文の文法に関する演習と解説	
3	10 / 9	読解 1	内容理解(短文・中文)に関する演習と解説	
4	10 / 14	読解 2	内容理解(長文)、統合理解、主張理解に関する演習と解説	
5	10 / 16	読解 3 と聴解 1	情報検索に関する演習と解説 課題理解に関する演習と解説	
6	10 / 21	聴解 2	ポイント理解、概要理解に関する演習と解説	
7	10 / 23	聴解 3	即時応答、統合理解に関する演習と解説	
8	10 / 28	文字・語彙 1 と文法	漢字読み、文脈規定、言い換え類義、用法に関する演習と解説	出題形式別 練習問題②
9	10 / 30	文字・語彙 2 と文法	文の文法(1, 2、文章の文法)に関する演習と解説	
10	11 / 4	読解 1	内容理解(短文・中文)に関する演習と解説	
11	11 / 6	読解 2	内容理解(長文)、統合理解、主張理解に関する演習と解説	
12	11 / 11	読解 3 と聴解 1	情報検索に関する演習と解説 課題理解に関する演習と解説	
13	11 / 13	聴解 2	ポイント理解、概要理解に関する演習と解説	
14	11 / 18	聴解 3	即時応答、統合理解に関する演習と解説	
15	11 / 21	模擬試験 1	言語知識・読解を範囲とする試験	模擬試験 言語知識・読解
16	11 / 25	模擬試験 2 ←(週2回なのでその後も続きます)	聴解を範囲とする試験	模擬試験 聴解
時間外の学修	事前学習：適宜授業の進行度によって指示する(主に練習問題において時間内に出来なかった部分) 事後学習：授業中間違えた箇所全てを再度復習する			
使用教材	担当教員の用意する教材 クラスによって適宜教員が提示する			
到達目標	①日本語能力試験の目標級の合格		評価方法 (%)	評価基準(点)
			授業内活動	20 S 90～100
	②日本語能力試験目標級相当の能力を身につける		講義理解	50 A 80～ 89
			発表状況	— B 70～ 79
	③習得した日本語能力を大学院の授業にて運用する		提出物	10 C 60～ 69
			期末試験	20 D 0～ 59

科目名 トータルビューティビジネス論		授業形態 講義・演習	科目区分 必修	担当教員
単位数 2単位	授業時間数 30時間	授業時間帯 秋期・水曜・6時限	オフィスアワー 平日13:00～17:00	山中祥弘
授業概要				
産業社会の発展とともにビューティビジネスは高度化・多様化・国際化し、トータルビューティビジネスとして統合発展した結果、21世紀のサービス産業を牽引する産業として期待されている。本講では、トータルビューティビジネスの概念と現状について理解を深め、さらに、その課題と将来の展望について論ずる。				
授業計画				
回	月日	学修テーマ	学修内容	備考
1	10 / 1	トータルビューティビジネスの概要	トータルビューティの構成要素と構造に関するビジネス視点での考察	
2	10 / 8	経済成長とサービス産業の成長	サービス産業の成長による経済成長の推進	
3	10 / 15	サービス産業とビューティビジネスの成長	サービス産業の成長モデルとしてのビューティビジネスの生産性向上策	
4	10 / 22	トータルビューティビジネス企業の成長	トータルビューティビジネスの成長と生産性の向上	
5	10 / 29	トータルビューティビジネスのキャリアデザイン	トータルビューティビジネスの企業成長と生涯キャリア教育	
6	11 / 5	精神美と健康美のビジネス	精神美と健康美の産業と企業と職業の動向	
7	11 / 12	容姿美ビジネス	容姿美の産業と企業と職業の動向	
8	11 / 19	服飾美ビジネス	服飾美の産業と企業と職業の動向	
9	11 / 26	生活美と環境美ビジネス	生活美と環境美の産業と企業と職業の動向	
10	12 / 4	長寿社会とビューティビジネス	長寿社会におけるビューティビジネスの貢献	
11	12 / 10	ビューティビジネスと幸福社会	ビューティビジネスによる幸福社会の推進	
12	12 / 17	長寿社会における長寿企業経営	長寿企業経営モデルとしての日本的経営	
13	1 / 14	日本的経営と日本精神	日本的経営の本質である日本の精神文化	
14	1 / 21	ビューティビジネスのグローバル化	ビューティビジネスのグローバル展開	
15	1 / 28	トータルビューティビジネスの将来	ハッピービジネスとしてのトータルビューティビジネスの使命	
16	2 / 4	まとめ	授業の総括と復習	
時間外の学修	事前学習： 次回の授業テーマに関する予習 事後学習： 授業内容に基づき、さらに深く考察する			
使用教材	業界調査資料・企業提供資料を随時配布する			
到達目標	①トータルビューティの概念と本質を理解する ②トータルビューティビジネスの現状と課題を探究する ③トータルビューティビジネスの将来展望を認識する		評価方法 (%)	評価基準(点)
			授業内活動	30 S 90～100
			講義理解	50 A 80～ 89
			発表状況	10 B 70～ 79
			提出物	10 C 60～ 69
			期末試験	D 0～ 59

科目名			授業形態	科目区分	担当教員		
経営管理論			講義	選択	清家・高山		
単位数	授業時間数	授業時間帯	オフィスアワー				
2単位	30時間	春期・木曜日・3時限	水曜日・木曜日の午後				
授業概要							
企業に就職、事業企画しリーダーになり、起業するための理論と必要な知識・情報を講義する。清家はベンチャーを起業した経験もあり、トヨタの人事部にもいたので、起業のノウハウ、日本企業に就職する際のノウハウについても教えたいと思っている。特に留学生が日本企業の就職試験で失敗することが多い、入社試験に成功するための秘密の講義をしたい。清家・高山で豊富な企業の事例を講義する。本講義では、経営管理は、社会、企業、店舗などにおいて、リーダーとして、部下や仲間などを協働させ、モノ・資金・情報・設備を的確に使い、部下や仲間の環境適応の能力と創造性を高めて、企業、店舗の目的を実現しようとする活動であると規定し、世界の新しい理論も解説する。							
回	月日	学修テーマ	学修内容		備考		
1	4 / 24	経営管理の定義	アンリ・ファール等の経営管理理論から世界の実践的経営管理論を解説		清家彰敏ブログの論文 https://seikeakit.blogspot.com/		
2	5 / 1	経営計画と経営戦略	経営計画の理論と経営計画作成に必要なマーケティング、戦略論などについて解説し、経営計画を作成させる。大阪・関西万博も分析。		清家彰敏ブログの論文 https://seikeakit.blogspot.com/		
3	5 / 8	事例 東急グループの渋谷再開発と経営戦略	スマートシティ理論とエンターテインメント、アニメ・コスプレが世界から観光客を集めるのはなぜ ミシュランが世界でもっとも多い都市東京		清家彰敏ブログの論文 https://seikeakit.blogspot.com/		
4	5 / 15	経営戦略事例	未来を変える戦略事例（高山）				
5	5 / 22	経営組織	進化型組織論と顧客組織化の理論		清家彰敏『進化型組織』同友館		
6	5 / 29	事例 資生堂とロレアル	資生堂とロレアルの組織、どちらが戦略対応が早いのか、能力発揮はどちらの組織か？（～）				
7	6 / 5	人事	開発型人事と起業型人事		清家彰敏『顧客組織化のビジネスモデル』中央経済社		
8	6 / 12	SonyとToyota	世界の未来を拓く2つの日本最強企業		日本経営品質学会22周年記念誌		
9	6 / 19	事例 美容と医療技術・インバウンドビジネス	世界と繋がるスマートシティのビューティライフと原宿ファッションが可愛い世界を変える				
10	6 / 26	実行・改善	日本でもっとも給与が高いキーエンスのビジネスの凄さ 社員は30代で豪邸が建つ！！		清家彰敏『日本型組織間関係のマネジメント』白桃書房		
11	7 / 3	生成AIとロボットによる近未来の生活とビジネス、コンビニからの革命	日本のロボット最先端：二つのタイプの人工知能、ローソンとKDDIのイノベーション				
12	7 / 10	評価統制	評価と統制を使い分ける最新フィードバック理論		清家彰敏ブログの論文 https://seikeakit.blogspot.com/		
13	7 / 17	事例 北海道から沖縄・九州インバウンドビジネス	沖縄・九州・北海道観光と航空会社の地域創生、観光の人選び・人づくり		本経営品質学会22周年記念		
14	7 / 24	イノベーション・起業・人材育成	米国・中国・東南アジアとの逆張りビジネス。トランプとイーロンマスクから学んだビジネス。ポカロなど日本の最先端イノベーションは仮想空間から始まる。		清家彰敏ブログの論文 https://seikeakit.blogspot.com/		
15	7 / 31	漫画アニメゲーム・秋葉原・池袋	ゲーム・eスポーツの市場規模は超巨大・任天堂の世界とコミケ60万人&コミックとらのあなの未来世界 日本のアニメビジネス。Usjはディズニーランドに勝てるか？				
16	8 / 7	試験	経営管理の基礎を理解、取得したか		清家・高山		
時間外の学修	事前学習：授業内容の予習（事前配布のPPTと清家ブログの論文を読む）						
	事後学習：授業の復習						
使用教材	新経営戦略論(寺本・大森,学文社,2022),日本経営品質学会22周年記念誌ー22年の歩みー						
到達目標	①経営管理の基礎を身に着ける ②日本と世界の企業の事例を理解し、討議できる。 ③入社試験に合格できる。企業でリーダーシップが取れる。いつでも起業できる。			評価方法（％）		評価基準(点)	
				授業内活動		20	S 90～100
				講義理解		20	A 80～ 89
				発表状況		10	B 70～ 79
				提出物		20	C 60～ 69
				期末試験		30	D 0～ 59

科目名			授業形態	科目区分	担当教員 横澤利昌 高梨一郎 金子一也 小川俊介	
日本的経営論			講義・演習	選択科目		
単位数	授業時間数	授業時間帯	オフィスアワー			
2単位	30時間	春期・木曜日・5時限	対面とオンライン講義併用			
授業概要						
世界で100年以上の長寿企業が最も多いのは、日本企業であり、ファミリービジネスである。それらは革新的な創業・継承・再生の経営を繰り返して今日に至っている。本講座は、その経営の仕方、多くにリスクの中でそれをどう継承するか、そして再生するか等、事例を踏まえながら進めていく。						
本講座は、日本的経営の特性をファミリービジネス(以下FB)と捉え、その理論と実証研究の両面から分析し企業の競争優位性を経営の視点から検討する力を養う。特に組織論、長寿企業の経営戦略や日本的経営の特徴とされる経営哲学(松下幸之助の人間尊重の経営)などを学び、企業の発展に結びつける理論と経営力を身に付ける事を目標とする。						
授業計画						
回	月日	学修テーマ	学修内容		備考	
1	4 / 24	経営の全体像	経営とは何か。3層から5層構造をわかりやすく説明する。「世界一受けたい授業」(講師出演)を参考にする。		横澤	
2	5 / 1	ファミリービジネス(FBと略す)	経営の共通の目的を定める。これがないと前に進めない。人間にも目標がないと進めないのと同様である。		横澤・高梨	
3	5 / 8	FBの海外比較	スリーサークルモデル(3円)で比較する。		横澤・河田	
4	5 / 15	今までのまとめ	経営とは組織を通して管理する。		横澤	
5	5 / 22	会社経営とFB	両者の相違点と課題		大山・桐明	
6	5 / 29	長寿企業とFB	両者の特徴とその戦略		大山	
7	6 / 5	財産管理の重要性	財務管理の基本とキャッシュフロー		大山・桐明	
8	6 / 12	FBの事業承継	事業承継の重要な要素とその戦略		大山	
9	6 / 19	経営戦略の形成	経営理念を戦略に落とし込む方法を伊藤園、資生堂、キャンノンなどを事例として考察する。		小川	
10	6 / 26	経営戦略と事業承継	経営理念に基づいた持続可能な成長戦略を実践する方法をダイキン工業、ミツカン、田中貴金属を事例に解説する。		小川	
11	7 / 3	経営理念とイノベーション	経営理念に基づいてどのようにイノベーションを起こし、変革と安定のバランスを実現したかカネカ、ヤクルト、島津製作所を事例として考察する。		小川	
12	7 / 10	経営理念とマーケティング戦略	経営理念に基づいたマーケティング手法を学び、ブランド価値の構築と持続について、中川政七商店、福寿園、ユニクロを事例に考察する。		小川	
13	7 / 17	経営理念の形成	日本伝統精神の神道が経営理念にいかに関与を与えたか解説する。		金子	
14	7 / 24	経営理念の形成	日本伝統精神の仏教・儒教が経営理念に関与を与えたことを解説する。		金子	
15	7 / 31	人材育成	経営理念に基づいた人材育成方法を松下幸之助を例に挙げ解説する。		金子	
16	8 / 7	人材育成	最新の脳科学の知見に基づく人材育成方法を事例を挙げ解説する。		金子	
時間外の学修	事前学習： 前回の授業内容の復習					
	事後学習： 授業で見つけた課題に取り組む					
使用教材	適宜配布する。					
到達目標	①世界の産業、経済、社会の変化を理解する ②いま起こっている変化の背景を探る ③これからの世界がどうなるかを考える			評価方法 (%)		評価基準(点)
				授業内活動	50	S 90～100
				講義理解	30	A 80～ 89
				発表状況	20	B 70～ 79
				提出物		C 60～ 69
				期末試験	50	D 0～ 59

科目名			授業形態		科目区分		担当教員	
企業経営診断論			講義・演習		選択			
単位数	授業時間数	授業時間帯		オフィスアワー		佐々木 勉 門脇 俊仁		
2 単位	32時間	後期・木曜・6 時限		金曜日・16時～20時				
授業概要								
企業経営の診断とは、企業の事業活動の現状を把握し、自社の将来像と照らし合わせてどのような課題があるかを検討します。その結果、課題を解決するための方策を見出し、その方策を進めていくことになります。ただ、企業経営の場合、利益を出さなくてはなりません。そこで、課題克服の方策を進めるにあたり、どのようにすれば利益が上がるかをシミュレーションし、経営計画を立案します。この方法は、新たに企業を興す、起業の場合も有効です。この一連の流れを学習してもらいます。								
授業計画								
回	月日	学修テーマ		学修内容			備考	
1	10 / 2	経営の現状把握①		誰に、何を、どのようにして、どのような関係を築いているのか➡事業コンセプト			佐々木	
2	10 / 9	経営の現状把握②		事業コンセプトを実現するための企業内部の活動と組織			佐々木	
3	10 / 16	経営の現状把握③		事業活動を通して何を蓄積するのか、どのような企業・機関と連携するのか			佐々木	
4	10 / 23	経営の現状把握④		事業の利益構造の把握、収益源は何か、主要なコストは何か			佐々木	
5	10 / 30	論理的思考法による課題の発見と解決①		論理的思考の必要性、論理展開のアプローチ、MECE、ロジックツリー			門脇	
6	11 / 6	論理的思考法による課題の発見と解決②		フローチャート、マトリックス、代表的なフレームワーク			門脇	
7	11 / 13	事業システム図の作成①		事業システム図作成のために必要な項目と作図方法			佐々木	
8	11 / 20	事業システム図の作成②		事例の事業について事業システム図を作成			佐々木	
9	11 / 27	論理的思考法による課題の発見と解決③		問題の原因究明方法			門脇	
10	12 / 4	論理的思考法による課題の発見と解決④		課題解決策の検討方法			門脇	
11	12 / 11	外部環境分析		事業を取り巻く環境をマクロとミクロで把握する			佐々木	
12	12 / 18	競合・新規参入の脅威把握		自社の事業の競合の把握、新規参入者の可能性の把握			佐々木	
13	1 / 8	課題の抽出と解決策の検討		課題の抽出とその課題克服のための戦略の策定方法と具体的方策の検討			佐々木	
14	1 / 15	経営計画①		経営計画の作成における条件設定の考え方			佐々木	
15	1 / 22	経営計画②		経営計画とシミュレーション			佐々木	
16	1 / 29	まとめ		まとめ			佐々木	
時間外の学修		関心のある業種の企業を見て回ったり、Webサイトで見てみたりして、事業活動の実際を知るようにしましょう。						
		授業で学んだ事項を、関心のある業種の企業の事業活動に当てはめてみましょう。						
使用教材		授業毎にレジュメを配布します。						
到達目標		① 企業活動全体を見渡すことができるようになること。 ② 課題の抽出と解決のための方策を提示できるようになること。 ③ 起業の際の事業計画の作成方法を修得すること。			評価方法 (%)		評価基準(点)	
					授業内活動 20		S 90～100	
					講義理解 30		A 80～ 89	
					発表状況 20		B 70～ 79	
					提出物 30		C 60～ 69 D 0～ 59	

科目名		授業形態	科目区分	担当教員
キャリア開発論		講義・演習	選択	高山 誠 三浦勝寛 佐藤綾子 桜木孝司
単位数	授業時間数	授業時間帯	オフィスアワー	
2 単位	30時間	春期・水曜日・4時限	授業終了後	
授業概要				
キャリアを多角的な視点で捉え、社会や業界がどのように一人一人のキャリアに影響し、繋がって今日のビジネス活動を築いているかを理解する。ビューティビジネスに関するキャリアを理解し、身につけた知識を活かして将来のキャリア形成や社員教育などに役立てる。更にグローバルなビジネスにおいてそのエキスパートから他国の社会や市場、文化を考慮したビジネスの仕組みを理解し、その中で労働すること、キャリアを築くことの実情を学ぶ。また、先進企業の人材開発および日本と世界の有名な経営者のキャリアから成功のメソッドの探究を通じて自己のキャリアを深めるための知識を得る。				
授業計画				
回	月日	学修テーマ	学修内容	備考
1	4 / 23	未来を切り拓く戦略とキャリア開拓	花道を進む経営は、人の行かぬ道の裏に花道あり キャリア開拓して花道を歩く	高山
2	4 / 30	戦略が夢と未来を決める	戦略決定プロセスとミッションが拓く夢と未来 テキスト第Ⅰ部	高山
3	5 / 7	彼を知り己を知れば百戦殆からず（孫氏の兵法）	外部・内部分析、能力を使いながら育てる方法 テキストに第Ⅱ部	高山
4	5 / 14	人と組織を動かす	組織マネジメント、財テク、マーケティング自分を売り込む テキスト第Ⅲ部	高山
5	5 / 21	理念戦略と人と社会	ヒトを活かす経営とキャリア・能力開発	高山
6	5 / 28	サービス産業における人材育成	グローバルな視点でキャリアとビジネスを考える	村上
7	6 / 4	「学ぶ」「自分」「キャリア」についての考察	学ぶとは？自分とは？キャリアとは？この整理と理解からスタートし、次回以降に接続する。	三浦
8	6 / 11	成功と幸福についての考察	キャリアの「成功と幸福」の関係性を、諸研究等をもとに考察する。	三浦
9	6 / 18	成功者のキャリアを探究①	S. ジョブズ、江副浩正、柳井正、孫正義、J. ベソス等のキャリアを探究。成功のメソッドを考察する。	三浦
10	6 / 25	ゲストによるキャリア共有	総合商社→大手情報産業→起業→紆余曲折→今に至る他者キャリアのリアルに触れて、自分を探究する。	三浦
11	7 / 2	成功者のキャリアを探究②	S. ジョブズ、江副浩正、柳井正、孫正義、J. ベソス等のキャリアを探究。成功のメソッドを考察する。	三浦
12	7 / 9	ビューティビジネス界での人材養成①	概 論	桜木
13	7 / 16	ビューティビジネス界での人材養成 ②	事例研究 ①	桜木
14	7 / 23	ビューティビジネス界での人材養成 ③	事例研究 ②	桜木
15	7 / 30	キャリア形成のパフォーマンス学	キャリア発達の4段階をどう乗り切っていくかを、その表現技法から学ぶ。	佐藤(綾)
16	8 / 6	全体のまとめ	これまでの講義を振り返り、授業で得られた知識を将来どのように活用するかを考える。	桜木
時間外の学修	事前学習：各テーマについて自分なりに考え、理解を深めるための質問を準備する（一部進行状況により担当から指示する） 事後学習：毎回の授業で得た知識を自分のキャリアやビジネスにどう応用できるかを考え、方策を立てる			
使用教材	担当者が指示する			
到達目標	①キャリアを多角的に捉えた上で、ビューティビジネスとキャリアについて深く学ぶ ②グローバルな視点でキャリアとビジネスを考える ③有名な経営者のキャリアと成功への探究を通じて自己のキャリアの発展のための知識を得る		評価方法 (%)	評価基準(点)
			授業内活動	50 S 90～100
			講義理解	30 A 80～ 89
			発表状況	10 B 70～ 79
			提出物	10 C 60～ 69
			期末試験	D 0～ 59

科目名			授業形態	科目区分	担当教員
財務管理論			講義・演習	選択	
単位数	授業時間数	授業時間帯	オフィスアワー		田井良夫
2 単位	30時間	秋 期・火曜・7 時限	毎授業後30分間		
授業概要					
本講義では、会計の技術（簿記）、会社計算規則（会社法会計）、国際財務報告基準（IFRS）、その他の会計諸則（ASBJ基準など）について、会計学の一通りの理解を深めてもらう。サービス業独特の会計処理、開示についての研究、ならびに、サービス業の財務分析の研究を行う。					
授業計画					
回	月 日	学修テーマ	学修内容		備考
1	10 / 7	会計の種類	①財務会計、管理会計、②商業会計、製造業会計、サービス業会計について考察する。		
2	10 / 14	簿記・会計	ビジネス言語としての簿記・会計について考察する。		
3	10 / 21	簿記・会計学	簿記と会計学の違いについて考察する。		
4	10 / 28	損益計算書①	損益計算書の区分の理解と収益分析について考察する。		
5	11 / 4	損益計算書②	サービス業の収益の認識、サービス業の売上原価区分、構成比について考察する。		
6	11 / 11	貸借対照表①	資産・負債・純資産の理解について考察する。		
7	11 / 18	貸借対照表②	貸借対照表の区分、構成比について考察する。		
8	11 / 25	財務諸表分析の手法①	収益性分析、安全性分析、成長性分析について考察する。		
9	12 / 2	財務諸表分析の手法②	損益分岐点分析、サービス業と他の業種との比較について考察する。		
10	12 / 9	会社分析①	サービス業、特に、美容業の会計データによる会社分析を行う。		
11	12 / 16	会社分析②	サービス業、特に、エステティックサロンの会計データによる会社分析を行う。		
12	12 / 23	財務諸表分析	財務諸表分析を総合的に考察する。		
13	1 / 13	利益計画・業績評価会計財務分析	サービス業、特に、美容業界の利益計画、業績評価会計財務分析の総合について考察する。		
14	1 / 20	タックスアカウンティング	サービス業のタックスアカウンティングについて考察する。		
15	1 / 27	全体のまとめ			
16	2 / 3	試験			
時間外の学修	事前学習：授業のテーマの予習				
	事後学習：授業で学んだ内容の復習				
使用教材	プリント配付（電卓持参）				
到達目標	①経営者となってから、ビジネスの全体像をつかむために必要な経営分析をできるようになる。 ②財務会計のより深い理解や技術を習得する。 ③管理会計のより深い理解や技術を習得する。		評価方法（％）		評価基準(点)
			授業内活動	30	S 90～100
			講義理解	—	A 80～ 89
			発表状況	—	B 70～ 79
			提出物	30	C 60～ 69
			期末試験	40	D 0～ 59

科目名		授業形態		科目区分	担当教員
観光ビジネス論		講義・演習		選択	中村好明 檜垣克己
単位数	授業時間数	授業時間帯	オフィスアワー		
2単位	30時間	秋期・木曜日・6時限	毎授業後30分間		
授業概要					
観光は裾野の広い産業であることから真の観光立国に向けた基幹産業化を目指すことが注視されている。前半の7回では、観光業界でも特に重要な成長産業と考えられている旅行業の変遷を事例を交えて講義する。高度経済成長期や海外旅行自由化をきっかけとして発展してきた旅行業の基本の理解から始まり、サービスビジネス全般に関わる広義の旅行産業ビジネスの正しい理解を図っていく。また、後半の8回では、国際観光特にインバウンドについて総合的に講義する。 (授業担当、内容につきましては一部変更する可能性があります)					
授業計画					
回	月日	学修テーマ	学修内容		備考
1	10/2	旅行業発展の歴史と観光政策	旅行業の社会的有用性、日本の観光政策の変遷を理解する。		檜垣
2	10/9	旅行商品及び旅行業の仕組みと現状	旅行業に関する各種法体系とマーケティング全般の理解を深める。		檜垣
3	10/16	国内旅行全般について	日本の観光産業の中核というべき国内旅行におけるビジネス全般を理解する。		檜垣
4	10/23	海外旅行全般について	商品構造がわかりにくい海外商品の理解とマーケット分析を把握する。		檜垣
5	10/30	法人営業について	企業・学校・行政等の法人組織への活動とMICE・スポーツ等テーマ関連を理解する。		檜垣
6	11/6	旅行業を取り巻く産業について	広義の観光産業（交通機関・宿泊施設・観光施設・その他）との関連性を理解する。		檜垣
7	11/13	旅行業の新しいビジネスモデル	ICTの進化がもたらす旅行産業及び観光産業の未来について考える。		檜垣
8	11/20	グローバル観光の定義	「狭義の観光・インバウンド」と「広義の観光・インバウンド」に分けて説明する。		中村好明
9	11/27	グローバル観光ビジネスの歴史	日本国内のインバウンド産業の歴史、そして世界の国際観光産業の歴史を解説する。		中村好明
10	12/4	グローバル観光ビジネスとおもてなし戦略	「サービス」と「ホスピタリティ」の概念の違いと、ホスピタリティ戦略について考察する。		中村好明
11	12/11	インバウンドビジネス事例研究（1）	日本各地の主要地域の観光ビジネストレンドを分析し、その特徴について説明する。		中村好明
12	12/18	インバウンドビジネス事例研究（2）	観光DX・免税制度・訪日ビューティビジネスについて考察する。		中村好明
13	1/8	インバウンドビジネス事例研究（3）	フードダイバーシティとアクセシブルツーリズムについて考察する。		中村好明
14	1/15	グローバル観光の新しい潮流	トランスフォーマティブ・トラベルなど世界の新しい旅の概念について考察する。		中村好明
15	1/22	まとめ	グローバル観光についてのまとめと試験対策を行う。		中村好明
16	1/29	期末試験			
時間外の学修	事前学習：前時の授業内容の復習 事後学習：授業で与えられた課題に取り組む				
使用教材	授業時に必要の内容を配布する。参考文献を適宜紹介する。				
到達目標	①観光ビジネスにおける旅行業を正しく理解する ②観光立国推進政策の現状を理解する ③広義のトータルビューティビジネスとしてツーリズムを捉えヒューマンサービスを確立させる		評価方法（％）		評価基準(点)
			授業内活動	30	S 90～100
			講義理解	-	A 80～89
			発表状況	-	B 70～79
			提出物	20	C 60～69
			期末試験	50	D 0～59

科目名 デジタルマーケティング論		授業形態 講義・演習		科目区分 コース別選択	担当教員
単位数 2 単位	授業時間数 30時間	授業時間帯 春期・木曜日・7 時限		オフィスアワー Zoom 等による事前予約制	熊村 剛輔
授業概要					
自分の経営する店舗、自分が販売する商品、そして自分自身を、どう知ってもらえばよいのか。どうやって興味を持ってもらえばよいのか。さらに収益を得るためには、どうすればよいのか。そのための“武器”として“デジタル”をどう使いこなせばよいのかを、15 回の講義を経て学んでいきます。春期では座学を中心に、実際にデジタルビジネスを考えていく際に、最低限必要な知識・情報の習得を中心に、デジタルビジネスに関する会話が最低限できることを目標とします。					
授業計画					
回	月日	学修テーマ	学修内容		備考
1	4 / 24	オリエンテーション デジタルマーケティングとは	デジタルマーケティングについて考える前に、まずデジタルマーケティングの基本的な定義について考えます		
2	5 / 1	マーケティングとは（マーケティングの仕組みと形）	デジタルマーケティングを深く掘り下げる前に、その前提となるマーケティングについての理解を深めます		
3	5 / 8	顧客を定義する	デジタルマーケティングを実践する前提となる“顧客”を定義します		
4	5 / 15	顧客を探す	定義された顧客がどこにいるのかを見極めるデータ分析について考えます		
5	5 / 22	顧客に伝える：1	デジタルマーケティングにおける“認知獲得”の形と方法論について解説します		
6	5 / 29	顧客に伝える：2	同上		
7	6 / 5	顧客を動かす：1	デジタルマーケティングにおける“施策”について解説します		
8	6 / 12	顧客を動かす：2	同上		
9	6 / 19	ネットでモノを売る：1	デジタルマーケティングにおける主目的の一つである物販について EC の基本を題材にしながら解説をします		
10	6 / 26	ネットでモノを売る：2	同上		
11	7 / 3	効果を測定する：1	デジタルマーケティングで成果を出すためにもっとも重要な効果測定について解説します		
12	7 / 10	効果を測定する：2	同上		
13	7 / 17	マーケティング施策の全体設計：1	デジタルマーケティングを実践するというテーマで、実際にコミュニケーション設計を考えてみます		
14	7 / 24	マーケティング施策の全体設計：2	同上		
15	7 / 31	まとめ：結局デジタルマーケティングとは？	これまでの振り返りデジタルマーケティングの本質とは何かを考えます		
16	8 / 7	予備日			
時間外の学修					
使用教材					
到達目標	① デジタルマーケティングにおける基礎の理解 ② 典型的な手法と効果測定についての理解 ③ コミュニケーション設計についての基礎理解		評価方法（%）		評価基準(点)
			授業内活		S 90～100
			講義理解		A 80～ 89
			発表状況		B 70～ 79
			提出物		C 60～ 69
			期末試験		D 0～ 59

科目名		授業形態	科目区分	担当教員
デジタルマーケティング実務		講義・演習	コース別選択	
単位数	授業時間数	授業時間帯	オフィスアワー	熊村 G
2 単位	30時間	秋期・木曜日・7 時限	Zoom 等による事前予約制	
授業概要				
"武器"として"デジタル"をどう使いこなせばよいのかをテーマに進めてきた春期のデジタルマーケティング論で学んだ知識を、実務において、どう使いこなすのかを、実際のケースを踏まえながら学んでいきます。デジタルを活用したプロモーション事例を紐解いたり、実際にデジタルを活用したコミュニケーション設計について考えます。				
授業計画				
回	月日	学修テーマ	学修内容	備考
1	10 / 2	オリエンテーション デジタルマーケティングの現場	実際に実務を考えるにあたって、その実務が行われている現場について解説します。	
2	10 / 9	デジタルマーケティングに関連する業務 - 1	デジタルマーケティングにひもづく様々な業務について、概要を説明します。	
3	10 / 16	デジタルマーケティングに関連する業務 - 2	同上	
4	10 / 23	デジタル広告 - 1	デジタル広告の出稿・運営・管理について学びます。	
5	10 / 30	デジタル広告 - 2	同上	
6	11 / 6	Web 制作と運営 - 1	Web 制作において必要な事項について要点を解説します。	
7	11 / 13	Web 制作と運営 - 2	同上	
8	11 / 20	メールや SNS の運営 - 1	メール配信・SNS 運営について、実業務について解説します。	
9	11 / 27	メールや SNS の運営 - 2	同上	
10	12 / 4	デジタルマーケティング施策のプランニング - 1	デジタルマーケティング施策全体のプランニングについて、その業務を解説します。	
11	12 / 11	デジタルマーケティング施策のプランニング - 2	同上	
12	12 / 18	デジタルマーケティング施策の実行と管理 - 1	プランニングから実行に移るにあたり、その業務と重要点を解説します。	
13	1 / 8	デジタルマーケティング施策の実行と管理 - 2	同上	
14	1 / 15	これからのデジタルマーケティング	AI 等によりデジタルマーケティングと、その業務も大きく変わることについて解説します。	
15	1 / 22	まとめ：これまでの振り返り	これまでを振り返り全体理解を深めます。	
16	1 / 29	予備日		
時間外の学修				
使用教材				
到達目標	① デジタルマーケティングにおける基礎の理解 ② 典型的な手法と効果測定についての理解 ③ コミュニケーション設計についての基礎理解		評価方法 (%) 授業内活動 20 講義理解 50 発表状況 10 提出物 20 期末試験	評価基準 (点) S 90～100 A 80～ 89 B 70～ 79 C 60～ 69 D 0～ 59

科目名 経営情報ビジネス論		授業形態 講義	科目区分 選択	担当教員
単位数 2単位	授業時間数 30時間	授業時間帯 秋期・水曜日・5時限	オフィスアワー 毎授業後30分間	岸 真理子
授業概要 本講義では、企業をはじめとする様々な組織を対象とし、組織を広い意味での「情報処理システム」として捉え、検討していく。情報通信技術（ICT）が飛躍的に発展し続けている今日、組織にとってICTやそれが生み出す多様で大量の情報によって、効率的・効果的に経営活動を行うかは、組織の存続や発展に関わる、変わらぬ根幹の課題である。加えて、昨今のICTの劇的な進展は、ICTやそれが生み出す情報が、競争優位や収益性を創出する手段であるだけでなく、その取扱いそのものが「経営（マネジメント）」であるという課題を検討することも求めている。				
回	月日	学修テーマ	学修内容	備考
1	10 / 2	ガイダンス	経営情報論という学問領域、システム的なものの見方、経営情報論への接近方法	岸
2	10 / 9	情報処理システムとしての組織	システムモデルによる組織の捉え方	岸
3	10 / 16	経営情報と組織	組織の情報処理と経営組織論	岸
4	10 / 23	経営情報と組織の意思決定	組織の中核機能としての意思決定	岸
5	10 / 30	経営情報と組織のコミュニケーション	組織を支えるコミュニケーション	岸
6	11 / 6	コミュニケーションとメディア活用	デジタルメディアの活用のポイント	岸
7	11 / 13	経営情報と戦略	組織の情報処理と経営戦略論	岸
8	11 / 20	経営情報と技術	経営活動の変革を具体化する技術	岸
9	11 / 27	組織と情報システムの進展	経営情報システムの発展プロセス	岸
10	12 / 4	組織のナレッジマネジメント	組織における知識の創造	岸
11	12 / 11	ICTが駆動する組織変革	ヒトと組織のネットワークとその変革	岸
12	12 / 18	ICTと問題解決	問題解決を行う方法	岸
13	1 / 8	ゲストスピーチ（1）	ゲストによる実践的な事例の紹介（1）	ゲスト
14	1 / 15	ゲストスピーチ（2）	ゲストによる実践的な事例の紹介（2）	ゲスト
15	1 / 22	ICTと価値創造	価値を生み出すプロセス	岸
16	1 / 29	総括	15回のまとめ、理解度のチェックテスト	岸
時間外の学修	事前学習：教科書の授業テーマに関連した部分を読んでおくこと。			
	事後学習：授業テーマに関する事例を考察してみること。			
使用教材	木嶋恭一・岸真理子『経営情報学－理論と現象をつなぐ論理－』有斐閣、2023年。			
到達目標	①経営情報論が扱う領域を体系的に捉える ②「情報で経営する」ことを学ぶ ③「情報を経営する」ことを学ぶ		評価方法（％）	評価基準(点)
			授業内活動	20 S 90～100
			講義理解	20 A 80～ 89
			発表状況	20 B 70～ 79
			提出物	C 60～ 69
			期末試験	40 D 0～ 59

科目名		授業形態		科目区分		担当教員	
グローバルビジネス論		講義・演習		選択		篠田文治 横山和子 河村直樹	
単位数	授業時間数	授業時間帯		オフィスアワー			
2 単位	30時間	秋 期・火曜日・ 3 時限		火曜日・ 13:00～17:00			
授業概要							
世界水準の経営（Global Business）を多角的な視点で理解し、知識労働者（Knowledge Worker）として求められる知識を学ぶ。更にグローバルリーダー（国際的経営者）を目指す為には理解すべき要件である、異文化コミュニケーション、先端企業の人材開発例、或いは著名な経営者のキャリアから、成功への手法として会得し、自己のキャリア（Career Ownership）を確認する。企業の長期的成長（SDGs）、事業承継に必須の基本理念（Corporate Mission）の骨子を例示的に学ぶ。							
授業計画							
回	月日	学修テーマ		学修内容		備考	
1	10 / 7	Introduction（科目概要と目的）		授業の進行や評価の説明、		（担当教員） 篠田横山河村	
2	10 / 14	グローバル人材開発①		現代社会を考える、日本・中国・世界		横山	
3	10 / 21	グローバル人材開発②		世界の潮流を考える、Red Ocean vs Blue Ocean		横山	
4	10 / 28	グローバル人材開発③		日本型人材モデルと成果型人材モデル		横山	
5	11 / 4	グローバル人材開発④		国際経営キャリアの研究（先行研究から学ぶ）		横山	
6	11 / 11	異文化経営とコミュニケーション		日本型経営文化と異文化間でのコミュニケーションの重要性を理解する		篠田	
7	11 / 18	先端企業の沿革と戦略事例		先行する日本型企業のField Survey		篠田	
8	11 / 25	グローバル時代の企業理念		SDGs、ESG経営と企業理念の関係を理解する		河村	
9	12 / 2	企業理念の国際比較		日本、中国、欧米の企業理念を比較しながら文化による差異や中国古典思想との接点を考える		河村	
10	12 / 9	企業の永続的成長と経営哲学		長寿企業やファミリービジネスの事例を通じて、企業と社会の関係を理解する		河村	
11	12 / 16	グローバル企業における企業理念の実践		企業理念に基づく企業変革の実践事例を学ぶ		河村	
12	12 / 23	グローバル人材開発⑤		グローバル企業（ユニクロ、無印良品）の人材開発事例を考える		横山	
13	12 / 30	キャリアゴールを明確にする		問題解決型事業経営と起業家の事例研究		横山	
14	1 / 6	サービスビジネスでのキャリアプラン		ワークショップⅠ：自分の理解・分析		横山	
15	1 / 13	キャリア計画の発表		ワークショップⅡ：キャリアプラン作成		横山	
16	1 / 20	グローバル企業が社員に求める知識		国際水準の経営者に求められる企業統治を理解する（役員秘書のロールプレイ）		篠田	
時間外の学修		事前学習：各テーマについて、自分なりに考えて、質問があれば準備する。 事後学習：毎回の授業で得た知識・経験（Field Study）を自分のキャリアに具体的に应用できるかを考察し、方策を立てる。					
使用教材							
到達目標		①グローバルな視点で、ビジネスと自分のキャリアを考える。 ②国際的経営者(Global Business Mangement Officer)に必要な要件を多角的に理解する。 ③自分のキャリア目標を自主的に確認し、発表する。		評価方法（%）		評価基準(点)	
				授業内活動	50	S	90～100
				講義理解	30	A	80～ 89
				発表状況	10	B	70～ 79
				提出物	10	C	60～ 69
				期末試験		D	0～ 59

科目名 パフォーマンス論		授業形態 講義・演習	科目区分 選択	担当教員
単位数 2単位	授業時間数 30 時間	授業時間帯 秋期・木曜・5時限	オフィスアワー 曜日・時～時	佐藤 綾子
授業概要 この講義の目的は、みなさんが社会で信頼されながら自信をもって生きていくための力を着けることです。世界の経営戦略史の中でも重要なアメリカ経営論の2大潮流テイラーとメイヨーの考え方から生まれたE. ゴッフマン(1956)のパフォーマンス学の理論とスキルです。 パフォーマンス学は、自己発見⇒自己強化⇒自己表現の3ステップで、自信を持って社会貢献して自己実現をしていく考え方と表現技法です。世界の永遠の真理として私たちを支える自己啓発の基本を学びましょう。				
授業計画				
回	月日	学修テーマ	学修内容	備考
1	10 / 2	人生の意味	自分を演じる「パフォーマンス学」。アメリカ思想の2大潮流 テイラーとメイヨーとパフォーマンス学	
2	10 / 9	自分はどんな人か?	パーソナリティの成り立ちと社会的役割、欲求とビジョン、パーパス	
3	10 / 16	大善とは何か	自分にも相手にも社会にも良いこととは? ギリシア哲学アリストテレスに学ぶ	
4	10 / 23	アメリカ思想ルネサンスの超人エマソンと「超越主義」	超人エマソンと「超越主義」	
5	10 / 30	生命の実相	アメリカ ルネサンス思想家エマソンがすごい日本の「生長の家」とハリウッド学園への影響	
6	11 / 6	エマソンの弟子ラインの成功哲学と自動車王フォード	自動車王フォードも傾倒したエマソン思想、エマソンに傾倒したライン	
7	11 / 13	ドラッカー(1905-2005)の「企業とは何か」	マネジメントの必要性	
8	11 / 20	演劇とパフォーマンス学	自分を演ずる意味	
9	11 / 27	能と日本人の美意識	我見と離見、「花伝書」世阿弥 パフォーマンス学、第三の目	
10	12 / 4	日本社会でうまくコミュニケーションする	アサーション技法	
11	12 / 11	グローバル社会での自己主張	ロジカルプレゼン	
12	12 / 18	あなたの生命の成功への道	「私のグッドネス」(佐藤綾子)	
13	1 / 8	成長とはどんなことか?	自己発見から自己強化、自己表現と「リフレクション」による成長	
14	1 / 15	人生はいつだって再出発できる。	人間は不完全で良い	
15	1 / 22	口頭発表	ビジョン、ストーリー、ショウのプレゼン	
16	1 / 29	全体のまとめ	テストと教師コメント	
時間外の学修	参考文献3冊をしっかりと読む			
使用教材	①「自分をどう表現するか」(講談社現代新書) ②「55歳から実りの人生」(サンマーク社) ③「成功はPQで決まる」(学研)			
到達目標	① あなたのすばらしさに気づくこと ② すばらしさを表現できること ③	評価方法 (%)		評価基準(点)
		授業内活動 講義理解 発表状況 提出物 期末試験		S 90～100 A 80～89 B 70～79 C 60～69 D 0～59

科目名			授業形態	科目区分	担当教員	
簿記論			講義・演習	前提	田井良夫	
単位数	授業時間数	授業時間帯	オフィスアワー			
2 単位	30時間	春 期・火曜・6 時限	毎授業後30分間			
授業概要						
簿記は、「帳簿記録」の略であるといわれるように、会社のビジネス活動、例えば、商品をいくら仕入れたか、いくら売上げたかということを記録して、もうけ(利益)を計算したり、会社に現金はいくらあるのか、商品の在庫はいくらあるのか、銀行からいくらお金を借り入れているのかということを記録して、会社にある財産の状況を示すことを目的としている。本講義では、利益計算や財産の状況を示すために行われる簿記の基本的なルールの学習を通じて、日商簿記検定試験3級レベルの簿記の知識・技術を習得することを目標としている。そこで、日商簿記検定試験3級レベルの商業簿記について学習する。簿記技術は、実際に手を動かし問題を解かなければ習得することはできない。よって、その技術を着実に習得するため、授業の中で実際に問題を解いてゆく。						
授業計画						
回	月日	学修テーマ	学修内容	備考		
1	4 / 15	簿記の基礎	簿記と会計について考察する。			
2	4 / 22	複式簿記	資産・負債・資本・収益・費用取引について考察する。			
3	4 / 29	財産法と損益法	貸借対照表と損益計算書について考察する。			
4	5 / 13	取引と勘定記入	会計取引の記録について考察する。			
5	5 / 20	会計帳簿	仕訳帳と総勘定元帳について考察する。			
6	5 / 27	試算表と財務諸表	試算表と貸借対照表・損益計算書について考察する。			
7	6 / 3	精算表と財務諸表	精算表と貸借対照表・損益計算書について考察する。			
8	6 / 10	決算整理手続	基礎的な決算整理について考察する。			
9	6 / 17	演習	簿記手続一巡について演習を行う。			
10	6 / 24	財務会計	財務諸表と会計学について考察する。			
11	7 / 1	演習	総合演習問題を解く。			
12	7 / 8	パソコン会計	パソコン会計について考察する。			
13	7 / 15	税務会計	美容業の税務会計について考察する。			
14	7 / 22	タックスアカウンティング	タックスアカウンティングの基礎について考察する。			
15	7 / 29	全体のまとめ				
16	8 / 5	試験				
時間外の学修	事前学習：授業のテーマの予習					
	事後学習：授業で学んだ内容の復習					
使用教材	プリント配布。授業毎に必ず電卓を持参すること。携帯電話の電卓機能は不可とする。					
到達目標	①ビジネスの全体像をつかむために必要な金銭の流れを把握することができるようになる。 ②日商簿記検定3級を合格することができる能力を身につけることができるようになる。 ③より高度の会計科目の受講に対するイントロダクションとしての知識を習得する。			評価方法 (%)		評価基準(点)
				授業内活動	30	S 90～100
				講義理解	—	A 80～ 89
				発表状況	—	B 70～ 79
				提出物	30	C 60～ 69
				期末試験	40	D 0～ 59

科目名 トータルビューティ芸術文化論		授業形態 講義・演習	科目区分 必修	担当教員 ジェニー牛山	
単位数 2 単位	授業時間数 30 時間	授業時間帯 前期・水曜・6時限	オフィスアワー 水曜日・16:00 ～ 18:00		
授業概要					
日本と世界の美容文化トータルビューティを探る。 創立者の成功哲学を学ぶ。 美容健康食を学ぶ。食生活を見直す。					
授業計画					
回	月日	学修テーマ	学修内容	備考	
1	4 / 23	自己紹介・授業の紹介	講義の内容を伝える。美容健康食。	J牛山	
2	4 / 30	ハリウッド創業を記念して	創業者の歩み。成功哲学を学ぶ。 映像紹介。学生発表。美容健康食。	J牛山	
3	5 / 7	日本の100年の歩み	明治・大正・昭和 その時代の美容文化を探る。 映像紹介。学生発表。美容健康食。	J牛山	
4	5 / 14	ソシオエステティック（福祉美容）について ①	ソシオエステティックの成り立ちと歴史、日本の現状について紹介	光江H	
5	5 / 21	ソシオエステティック（福祉美容）について ②	超高齢社会におけるソシオエステティックの必要性和実践を学ぶ	光江H	
6	5 / 28	日本の古代・飛鳥・平安	その時代の美容文化。映像紹介。 学生発表。美容健康食。	J牛山	
7	6 / 4	日本の戦国・江戸	その時代の美容文化。映像紹介。 学生発表。美容健康食。	J牛山	
8	6 / 11	西洋の古代エジプト・ローマ	その時代の美容文化。映像紹介。 学生発表。美容健康食。	J牛山	
9	6 / 18	気功	美容健康気功を体験	劉	
10	6 / 25	西洋中世 17C～18C	その時代の美容文化。映像紹介。 学生発表。美容健康食。	J牛山	
11	7 / 2	西洋 19C～20C	その時代の美容文化。映像紹介。 学生発表。美容健康食。	J牛山	
12	7 / 9	西洋と日本映画から	映画から学ぶ美容文化。映像紹介。 学生発表。美容健康食。	J牛山	
13	7 / 16	日本の文化	「イザナギ」。映像紹介。 学生発表。美容健康食。	IZANAGI編集部 土屋	
14	7 / 23	日本の文化ー歌舞伎・宝塚	演劇と美容文化。映像紹介。 学生発表。美容健康食。	J牛山	
15	7 / 30	100周年ビューティショー	ビューティショーを通して才能発見をみる。 学生発表。美容健康食。	J牛山	
16	8 / 6				
時間外の学修	事前学習： テキストや参考資料などを用いて、授業内容の概要を把握すること。				
	事後学習： レポートに備えて、授業内容を復習し、内容をまとめること。				
使用教材	『美と健康のレシピ』『美・健・食入門』他。				
到達目標	① 世界と日本の文化とヘアメイクを理解する。 ② トータルビューティの歴史を学び、美の世界の本質を知る。 ③ 美容と健康の基本を食と気功を通して理解する。		評価方法 (%)	評価基準(点)	
			授業内活	50	S 90～100
			講義理解		A 80～ 89
			発表状況		B 70～ 79
			提出物	50	C 60～ 69
		期末試験		D 0～ 59	

科目名 コスメティックビジネス論			授業形態 講義	科目区分 選択	担当教員	
単位数 2単位	授業時間数 30時間	授業時間帯 秋期・水曜・4時限	オフィスアワー 水曜日・16:10～17:10他随時(要予約)		瀧野公子 光江弘恵 中川登紀子	
授業概要						
本講義はビューティビジネスの核となる化粧品ビジネスを学ぶものであり、化粧品の企画からマーケティング、研究開発、販売に至るまでの一連の流れをカバーする。また、事例研究等を通じ、近年の化粧品ビジネスの動向を理解しつつ、化粧品以外のビューティビジネスにおいても論理的かつ実践的なビジネススキルを身につけることが期待できる。						
授業計画						
回	月日	学修テーマ	学修内容		備考	
1	10 / 1	ガイダンス／化粧品市場の概況	化粧品業界の構成要素、化粧品の企画～販売の流れの概説。		中川	
2	10 / 8	化粧品のSTP	化粧品のセグメンテーション・ターゲティング・ポジショニングについて。		中川	
3	10 / 15	消費者調査法	化粧品の消費者調査の手法と調査事例の紹介。		中川	
4	10 / 22	製品戦略(スキンケア)	製品戦略の概要とスキンケア化粧品市場の国内外の動向、事例研究。		中川	
5	10 / 29	製品戦略(メイクアップ)	製品戦略の概要とメイクアップ化粧品市場の国内外の動向、事例研究。		中川	
6	11 / 5	製品戦略(ヘアその他)	製品戦略の概要とヘアケアその他の国内外の動向、事例研究。		中川	
7	11 / 12	ブランド戦略	化粧品のブランド戦略について。代表的な化粧品ブランドの事例研究。		中川	
8	11 / 19	研究開発戦略	化粧品の研究開発の流れや化粧品の評価方法について。		中川	
9	11 / 26	化粧品業界のOEM	化粧品を受注製造するOEMについて。		中川	
10	12 / 3	人材戦略	化粧品会社の人材育成について。		瀧野	
11	12 / 10	販売促進戦略	化粧品のコミュニケーション・販売促進戦略について。近年の成功事例の分析。		中川	
12	12 / 17	営業戦略	化粧品会社の営業戦略について。		光江	
13	12 / 24	化粧品のスタートアップ	化粧品事業を始める際に必要な手続きについて。		中川	
14	1 / 14	店舗・売場戦略	カウンセリング化粧品を販売する店舗・売場の戦略。		瀧野	
15	1 / 21	事業戦略／まとめ	事業戦略について。大手・新興化粧品企業の事例研究。本講義のまとめ。		中川	
16	1 / 28	テスト	オンラインにて実施する。授業の内容に関する記述問題を出題する。		中川	
時間外の学修	授業後にレポート課題を課する。					
使用教材	授業の際にプリントを配付する。参考文献を適宜紹介する。					
到達目標	① 商品の企画から開発、販売までの流れについて理解する。 ② 化粧品を販売するための企画力・実践力を身につける。 ③ 成功した化粧品やブランド、戦略の事例を学び、各自のビジネスに活かす。			評価方法 (%)		評価基準(点)
				授業内活動	30	S 90～100
				講義理解	10	A 80～ 89
				発表状況	10	B 70～ 79
				提出物	10	C 60～ 69
				期末試験	40	D 0～ 59

科目名		授業形態	科目区分	担当教員
ファッションビジネス論		選択	選択	篠原航平 布矢千春 山田晶子 依田由利子
単位数	授業時間数	授業時間帯	オフィスアワー	
2単位	30時間	春期・水曜日・5時限	授業前後の30分(対面)、それ以外はメールで随時	
授業概要 本科目では、日本、ヨーロッパ、アメリカ及び中国のファッション市場について学ぶ。4地域のファッション市場の推移(過去)、現在、今後の趨勢(未来)に関して重要な事項を中心に学習する。また授業の中では『WWD JAPAN』を使用してファッションのトレンド、ファッション業界における起業に関しても触れていく。				
授業計画				
回	月日	学修テーマ	学修内容	備考
1	4 / 23	授業概要	授業計画等、ミニワーク	担当：篠原
2	4 / 30	日本のアパレル市場 1 (推移・現在)	1960年代～1980年代 1990年代～2000年代(2009年まで)	担当：篠原
3	5 / 7	日本のファッション市場 2 (現在・今後の趨勢)	1990年代～2000年代(2009年まで) (前回の続き) 2010年代以降	担当：篠原
4	5 / 14	コレクション関連	Worldwide CollectionにおけるFashionとBeautyのトレンド分析	担当：布矢
5	5 / 21	セレクトショップ関連	創業の背景とファッショントレンドへの提案手法	担当：山田
6	5 / 28	ヨーロッパのファッション市場 1 (推移・現在)	19世紀末～1960年代(オートクチュール・既製服産業) 1940年代～1970年代(既製服産業)	担当：篠原
7	6 / 4	ヨーロッパのファッション市場 2 (現在・今後の趨勢)	1940年代～1970年代(既製服産業) (前回の続き) 1980年代以降(ラグジュアリー、SPA他)	担当：篠原
8	6 / 11	都市型商業施設関連	創業の背景と生活トレンドへの提案スタイル	担当：山田
9	6 / 18	アメリカのファッション市場 1 (推移・現在)	19世紀末～1960年代(既製服産業) 1960年代～1990年代(様々な流通チャネルに関して)	担当：篠原
10	6 / 25	アメリカのファッション市場 2 (現在・今後の趨勢)	1960年代～1990年代(様々な流通チャネルに関して) (前回の続き) 2000年代以降	担当：篠原
11	7 / 2	アメリカ関連	アメリカのファッション業界事情とファッションとDXの現状	担当：布矢
12	7 / 9	日本のブランドのビジネス事例	日本のブランドのオンラインとリアル店舗について	担当：依田
13	7 / 16	中国のファッション市場 1 (推移・現在)	1900年代(清朝末期)～1990年代 2000年代(2009年まで)～2010年代	担当：篠原
14	7 / 23	中国のファッション市場 2 (現在・今後の趨勢)	2000年代(2009年まで)～2010年代(前回の続き) 2010年代以降	担当：篠原
15	7 / 30	ファッション業界での起業	ブランドの認知 輸出業務	担当：篠原
16	/			
時間外の学修		事前学習：テーマ検索(予習) 事後学習：講義内容復習		
使用教材		授業時に配布する。		
到達目標	本科目の目標は、最終製品であるアパレル品の流通を中心に、ファッションビジネスをグローバルな視点で理解するための基礎知識を身に付けることである。ビューティビジネスとも関係の深いファッションビジネスを学ぶことで、トータルビューティ追求のための教養を身に付けてもらいたい。		評価方法(%)	
			授業内活動	35%
			講義理解	35%
			発表状況	
			提出物	30%
		期末試験		行わない
		評価基準(点)		
		S 90～100		
		A 80～89		
		B 70～79		
		C 60～69		
		D 0～59		

科目名 メデイカルビューティ論		授業形態 講義・演習	科目区分 選択	担当教員 上馬場和夫 川本善規 菊池浩史
単位数 2単位	授業時間数 30時間	授業時間帯 秋期・火曜・6時限	オフィスアワー 火曜日 18:00-19:30	
授業概要				
経済発展に伴い、消費者ニーズは高度化、多様化しビューティテクノロジーも発展してきた。さらに近年は、超高齢化社会にもなってきたことで、シニアにもアンチエイジングやビューティテクノロジーのニーズが高まってきた。その結果、美容と医療を相互に連携させたビジネスの方法を理解することが必要となってきた。本講では、歯科を含む全身の解剖生理学と美容とのかかわり、口腔医療と近年盛んな統合医療や東洋医学とりわけアーユルヴェーダについて学ぶ。見た目のアンチエイジングや美容医療などにおける法的な問題についてもオーバービューをする。最終的に、メデイカルビューティ&ヘルスケアを通じた新たな美容ビジネスの展開を論述する。				
授業計画				
回	月日	学修テーマ	学修内容	備考
1	10 / 7	オリエンテーション	講義の概要説明。健康寿命を延伸させる東西医学の融合：現代医学的歯科学、東洋医学の鍼灸やアーユルヴェーダの活用と医療資格	川本（上馬場）
2	10 / 14	口腔と美容	歯科的な美容の理論と口腔衛生と健康の関係。全身疾患と口腔内細菌叢との深い関係。元気で長生きしたければ歯科に行け！	川本
3	10 / 21	若返りと美容	ヒト胎盤療法の臨床的効果と体験	川本
4	10 / 28	若返りと美容	ヒト胎盤療法の臨床的効果と体験	川本
5	11 / 4	インド医学アーユルヴェーダ概論	アーユルヴェーダの概論：ヘルスだけでなく、ウェルビーイングの重要性	上馬場
6	11 / 11	アーユルヴェーダの食事&ハーブ、スパイスの美容への活用法	アーユルヴェーダのアンチエイジング理論と食事	上馬場
7	11 / 18	アーユルヴェーダの種々の施術法の理論	アーユルヴェーダの浄化療法の理論	上馬場
8	11 / 25	アーユルヴェーダの施術法の実践法	アーユルヴェーダのオイルケアなどの理論と体験	上馬場
9	12 / 2	東洋医学概論	東洋医学の概念と理論：とりわけ老化制御と美容	川本
10	12 / 9	抗加齢医学の最先端	美容とアンチエイジング医学総論：長寿遺伝子と酸化ストレス	川本
11	12 / 16	抗加齢医学と食事（分子栄養学）	医学的にみたアンチエイジング法：カロリー制限のエビデンス	上馬場
12	12 / 23	鍼灸医学の美容や病気への応用、美容鍼灸	鍼灸医学の美容効果、理論と体験（美容鍼灸、カッサ）	キムスワン
13	1 / 13	美容と医療	ヒアルロン酸注射による美容	川本
14	1 / 20	アーユルヴェーダのアンチエイジング理論	アーユルヴェーダとヨーガの呼吸法、瞑想法の理論	上馬場
15	1 / 27			医師（婦人科）
16	2 / 3			医師（皮膚科）
時間外の学修	事前学習：授業に関する事項について下調べする			
	事後学習：授業内容を振り返り考察を深める。			
使用教材	授業ではプリントを配布する			
到達目標	①美容と医療、健康との深いかかわりを幅広く修得する。 ②トータルビューティを求める場合、不可欠な東西医学の知識を理論と方法について学ぶ。 ③多職種連携の必要性を理解する。		評価方法（％）	評価基準(点)
			授業内活動	25 S 90～100
			講義理解	25 A 80～ 89
			発表状況	20 B 70～ 79
			提出物	20 C 60～ 69
			期末試験	10 D 0～ 59

科目名		授業形態		科目区分	担当教員
プロジェクト研究		講義・演習		必修	川島鋼太郎 坪内暁子 蓑地章子
単位数	授業時間数	授業時間帯	オフィスアワー		
2単位	30時間	春, 秋期・火曜日・4, 5時限	担当教員から指示する		
授業概要					
この講義の課題は、プロジェクト成果報告に向けた「研究の進め方」を習得することである。大学院在学中に世界標準の研究の作法を習得するために、全学共通の研究方法の基準を設定した『研究マニュアル』を使って指導する。毎年、春期（秋期）の後半に毎週2時限連続して授業を行う。					
春期日程					
回	月日	学修テーマ	学修内容		備考
1	6	序章と第一部	「プロジェクト成果報告の概要」 「全体スケジュール及び研究計画書の作成」 演習：1. テーマとサブテーマ		主な担当教員 川島
2	/				
	17				
3	6	第2部分	「研究の進め方」 演習：2. 目次		川島
4	/				
	24				
5	7	第3部分	「資料収集の方法」 演習：3. 一次資料と二次資料		坪内
6	/				
	1				
7	7	第4部分と第5部分	「論文のまとめ方・書き方」 「論文の方法と「成果報告書」の提出」 演習：4. データや資料方法および中間発表資料（8枚）の作成案		蓑地
8	/				
	8				
9	7	発表（練習）	第1回発表、質疑応答、討議、助言		川島 坪内 蓑地
10	/				
	15				
11	7	発表（練習）	第1回発表、質疑応答、討議、助言		川島 坪内 蓑地
12	/				
	22				
13	7	中間発表本番	中間発表7分、質疑応答5分（予定）		川島坪内蓑地 審査担当の先生方
14	/				
	29				
15	8	中間発表本番	中間発表7分、質疑応答5分（予定）		川島坪内蓑地 審査担当の先生方
16	/				
	5				
時間外 の学修	事前学習：前の授業の復習と、毎回の授業で行う範囲を事前に読んでおく 事後学習：授業で把握したことに基づき、次の授業で必要なことを準備する				
使用教材	寺本義也著、川島鋼太郎訳『プロジェクト成果報告のための研究マニュアル』（常に最新化したもの）				
到達目標	①単なる知識の学習とどまらず、優れたプロジェクト成果報告のための研究と実践を進めることが出来る。 ②各自の「研究計画の発表」のための資料を作成し、発表する。		評価方法（％）		評価基準(点)
			授業内活動	20	S 90～100
			講義理解	30	A 80～ 89
			発表状況	20	B 70～ 79
			提出物	30	C 60～ 69
			期末試験	—	D 0～ 59

科目名		プロジェクト研究		授業形態	講義・演習	科目区分	必修	担当教員	川島鋼太郎 坪内暁子 養地章子
単位数	2単位	授業時間数	30時間	授業時間帯	春, 秋期・火曜日・4, 5 時限			オフィスアワー	担当教員から指示する
授業概要									
この講義の課題は、プロジェクト成果報告に向けた「研究の進め方」を習得することである。大学院在学中に世界標準の研究の作法を習得するために、全学共通の研究方法の基準を設定した『研究マニュアル』を使って指導する。毎年、春期（秋期）の後半に毎週2時限連続して授業を行う。									
春期日程									
回	月日	学修テーマ			学修内容			備考	
1	12 /	序章と第一部			「プロジェクト成果報告の概要」 「全体スケジュール及び研究計画書の作成」 演習：1. テーマとサブテーマ			主な担当教員 川島	
2	2								
3	12 /	第2部分			「研究の進め方」 演習：2. 目次			川島	
4	9								
5	12 /	第3部分			「資料収集の方法」 演習：3. 一次資料と二次資料			坪内	
6	16								
7	12 /	第4部分と第5部分			「論文のまとめ方・書き方」 「論文の方法と「成果報告書」の提出」 演習：4. データや資料方法および中間発表資料（8枚）の作成案			養地	
8	23								
9	1 /	発表（練習）			第1回発表、質疑応答、討議、助言			川島 坪内 養地	
10	13								
11	1 /	発表（練習）			第1回発表、質疑応答、討議、助言			川島 坪内 養地	
12	20								
13	1 /	中間発表本番			中間発表7分、質疑応答5分（予定）			川島坪内養地 審査担当の先生方	
14	27								
15	2 /	中間発表本番			中間発表7分、質疑応答5分（予定）			川島坪内養地 審査担当の先生方	
16	3								
時間外の学修	事前学習：前の授業の復習と、毎回の授業で行う範囲を事前に読んでおく 事後学習：授業で把握したことに基づき、次回の授業で必要なことを準備する								
使用教材	寺本義也著、川島鋼太郎訳『プロジェクト成果報告のための研究マニュアル』（常に最新化したもの）								
到達目標	①単なる知識の学習とどまらず、優れたプロジェクト成果報告のための研究と実践を進めることが出来る。 ②各自の「研究計画の発表」のための資料を作成し、発表する。					評価方法（％）		評価基準(点)	
						授業内活動	20	S	90～100
						講義理解	30	A	80～89
						発表状況	20	B	70～79
						提出物	30	C	60～69
						期末試験	—	D	0～59

科目名 プロジェクト成果報告		授業形態 講義・演習		科目区分 必修		担当教員 学生個々の研究テーマに応じて担当教員決定。担当者一覧は別添。			
単位数 2単位		授業時間数 30時間		授業時間帯 春、秋期（履修登録は2年生から） 時間は担当の先生と話しあう		オフィスアワー 担当教員から指示する			
授業概要									
「プロジェクト成果報告のテーマ」（課題）は、3 類型【①研究論文型 ②事業計画立案型 ③作品政策型】より選択することができる。その上で、「研究マニュアル」に準拠し、具体的な課題研究及び論文構成を行う。また、その進捗状況及び研究内容の相互確認の機会として学生全員と指導教員全員が一堂に会しての「中間発表」を毎期末に実施し（都合3回）、さらに「最終発表」を修了直前に実施した上で、修了判定を行う。									
授業計画									
回	月日	学修テーマ		学修内容		備考			
1	第1期	＜入学後の前半期＞		該当学生と担当教員との共同運営により 設定仮説に関し討議し、課題を明確にしながら、研究論文の完成作成に資する。 入学時に作成した「研究計画書」を検討する。					
2									
3									
4									
5	第2期	＜1年次の後半期＞		該当学生と担当教員との共同運営により 設定仮説に関し討議し、課題を明確にしながら、研究論文の完成作成に資する。 研究テーマを修正しつつ、中間での到達点を確認する。					
6									
7									
8									
9	第3期	＜2年次の前半期＞		該当学生と担当教員との共同運営により 設定仮説に関し討議し、課題を明確にしながら、研究論文の完成作成に資する。 論拠を確かにしつつ、論旨明瞭な解決案をまとめる。					
10									
11									
12									
13	第4期	＜2年次の後半期＞		該当学生と担当教員との共同運営により 設定仮説に関し討議し、課題を明確にしながら、研究論文の完成作成に資する。 2年間の学修成果を総括し、収支に値する革新性のある論文を完成する。					
14									
15									
16									
時間外の学修		毎回の指導後、次回の検討要点に関する調査探究を行う。							
使用教材		「プロジェクト成果報告のための研究マニュアル」（必携）、各種データ・資料（随時）							
到達目標		①実務上の重要課題に対する解決策を策定することができる。 ②解決策を、論拠を提示し、矛盾のない体系的な論旨に基づき策定することができる。 ③解決策を、従来にない革新的な提案として策定することができる				評価方法（％）		評価基準(点)	
						授業内活動		—	S 90～100
						講義理解		—	A 80～ 89
						発表状況		10	B 70～ 79
						提出物		90	C 60～ 69
						期末試験		—	D 0～ 59

プロジェクト成果報告担当教員一覧

相原 修	千葉 智之
上馬場 和夫	坪内 暁子
小川 朝子	寺本 義也
小川 榮太郎	外山 公美
川島 鋼太郎	中川登紀子
岸 眞理子	南部 裕子
木村 泉	西村 好恵
熊村 剛幸	布矢 千春
櫻木 孝司	橋田 修
佐々木 勉	光江 徳尚
佐藤 綾子	光江 弘恵
佐藤 和彦	蓑地 章子
ジェニー牛山	柳 延人
清家 敏彰	山中 祥弘
高山 誠	横澤 利昌
瀧野 公子	渡邊 雅美